

2月 は 化学物質管理強調月間です。

宮城労働局・(公社)宮城労働基準協会共催

化学物質管理セミナー

“目に見えない危険”
に気付くには

令和8年

2月13日 金

14:00~16:00

(会場受付開始 13:30)

参加費無料

(定員 会場80名 Web参加200名)

会場：公益社団法人 宮城労働基準協会 4階会議室
：仙台市青葉区一番町二丁目5-22 GC青葉通りプラザ

講師 城内 博 氏

~~profile~~

- 独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所
化学物質情報管理研究センター長
- 国際連合GHS 専門家委員会 日本代表(団長)(2000年~2023年)
- 厚生労働省「職場における化学物質等の管理のあり方に関する検討会」
座長(2019年~2021年)
- 厚生労働省 労働政策審議会 安全衛生分科会 分科会長(2019年~2025年)

などを歴任、「こう変わる！化学物質管理 法令順守型から自律的な管理へ」(2022年)など
著書多数

GHSナビゲーションキャラクター
「Chemi(ケミ)」ちゃん



<その他内容> ○関係法令説明 宮城労働局健康安全課
○化学物質関係講習について 宮城労働基準協会

申込方法は
裏面をご覧ください

お問い合わせ先

宮城労働局 健康安全課

TEL 022-299-8839

労働基準局広報キャラクター「たしかめたん」



申込 方法

下のURL又は二次元コードからお申し込みください。

※参加種別により申込サイトが異なりますのでご注意ください。

【会場参加の方】 定員80名

<https://www.roudoukyoku-setsumeikai.mhlw.go.jp/>

(労働基準監督署説明会等受付サイトから「宮城県」を選択)



(会場参加用)

【WEB参加の方】 定員200名

<https://www.rouki.or.jp/pages/209/>

(公社)宮城労働基準協会の講習会ページ



(WEB参加用)

<会場参加、申込に関する問い合わせ>

宮城労働局健康安全課
TEL022-299-8839

<WEB参加、申込に関する問い合わせ>

公益社団法人 宮城労働基準協会本部事務局
TEL022-265-4091

2月は化学物質管理強調月間です。

厚生労働省は、産業界における自律的な化学物質管理活動を推進するとともに、広く一般に職場における危険・有害な化学物質管理の重要性に関する意識の高揚を図るため、2月を「化学物質管理強調月間」として化学物質対策の取組促進を図っています。

化学物質は広く多くの製品に使用されており、有害性に関する情報を的確に把握し、適切に使用することが重要なことから、各事業者においては「第2回化学物質管理強調月間実施要綱」に基づき化学物質の自律的管理に努められますようお願いいたします。

GHSナビゲーションキャラクター「Chemi (ケミ)」



化学物質管理強調月間スローガン

慣れた頃こそ再確認 化学物質の扱い方



【事業者が実施すべき事項】 ※第2回化学物質管理強調月間実施要綱抜粋

◎危険・有害な化学物質管理の重要性に関する意識高揚を図る。

◎化学物質管理体制の構築を最重点事項とし、事業者及び労働者が連携・協力し、次の事項を実施する。

① 日常の化学物質管理の総点検の実施

- ・化学物質管理者の選任状況(権限付与、氏名揭示等含む)の確認
- ・製造又は取扱い化学物質の把握及び、安全データシート(SDS)等による危険有害性等の確認
- ・ラベル表示、SDS交付・確認状況の点検
- ・SDS等で把握した危険有害性に基づくリスクアセスメントの実施
- ・リスクアセスメント結果に基づくリスク低減対策の実施(ばく露濃度低減、適切な保護具の使用等)
- ・労働者に対する化学物質に関する教育の実施
- ・保護具着用管理責任者の選任状況(権限付与、氏名揭示等含む)の確認
- ・化学物質管理状況等について衛生委員会での調査審議

② 事業者又は総括安全衛生管理者による職場巡視

③ 事故等緊急時の災害(有害物の漏えい、酸素欠乏等)を想定した実地訓練等の実施

④ スローガン等の掲示

⑤ 化学物質管理への意識高揚のための行事の実施

(化学物質管理に関する講習会・見学会等の開催、作文・写真・標語等の掲示等)